

浅沼 俊彦（島根医科大学 第四内科）

【留学先】Mayo Clinic

【テーマ】心エコー法を用いた虚血性心疾患の病態評価に関する基礎ならびに臨床研究、コントラストエコー法

【経過報告書】

私は現在、米国ミネソタ州のメイヨークリニックに留学しています。メイヨークリニックの Cardiac Ultrasound Imaging and Hemodynamic Laboratory は James B. Seward 先生のもと、50 人以上のソノグラファーと 30 人以上のコンサルタントとフェローがいる、たいへん大きなラボです。超音波に関する研究では、Echocardiography Clinical Research Center (ECRC)、BasicUltrasound Research Lab (BURL)、そして Translational Ultrasound Research Unit (TURU) という 3 つの部門をもっています。文字通り、ECRC は臨床、BURL は基礎的な研究を行うわけですが、TURU はこの基礎の領域と臨床を橋渡しする役割を担う部門です。基礎の領域で新しく開発された技術が臨床で使用されるためには、その十分な裏付けの研究が必要となりますが、TURU はこの領域をカバーする目的で、98 年に設立されました。私は現在この TURU に所属し、コントラストエコーに関する研究を行っています（大阪市大の竹本先生も同じラボです）。

日常の診療や研究もちろんですが、ご承知のように、ここメイヨーは特に教育プログラムにも力を入れていて、さまざまな講演や研究会が毎週主催されています。貴学会からの海外留学助成により、このようなたいへんすばらしい環境のもとで働けることができ、とても感謝しております。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。